

JOMF 派遣医師便り (2015.9)

◆ジャカルタ◆

ジャカルタに赴任して

JJC 医療相談室

伊藤 通敏

8月3日、午前3時半に、長野の自宅を出発。
午前10時過ぎの羽田発のジャカルタ行きに乗り、夕刻に、ジャカルタ着。

空港から出ると、相変わらず、人々の喧騒、圧倒される。
長野の牧歌的雰囲気と、全く違う、当たり前か！
少しの緊張と不安が、心を過ぎる。
迎えに来て頂いた車に乗り込み、高速に乗り、アパートに向かう。
いやはや、ヤットコサ、到着。
その日は、さすがに疲れ、直ぐにベッドに潜り込みました。

翌日、早速、JJC 医療相談室に、出勤。
皆さんに、快く迎えて頂き、少し心の緊張が、ほぐれる。

診療相談の再開は、8月18日からとの事、(ビザの関係上)
雰囲気に慣れて、スタッフの方と、スムーズに仕事ができるように、
再開まで、毎日、顔を出す。インドネシア語の、必要性を、痛感。

また、今までは、日本では、電子カルテで、全てパソコンで行っていたのが、
またまた、紙カルテに、逆戻り。
内服の処方、検査のオーダー、カルテの書き方、全てに戸惑い、
もう慣れるしかないかと、開き直る。

相談再開してからの、8月末まで、約80名弱の、患者さん。
主に、上気道感染症、胃腸感染症、慢性疾患の定期フォロー、外傷、
他には、日本で受けた検診結果相談、神経疾患も。

疾患の多種多様性は、ジャカルタ、そのものだ！